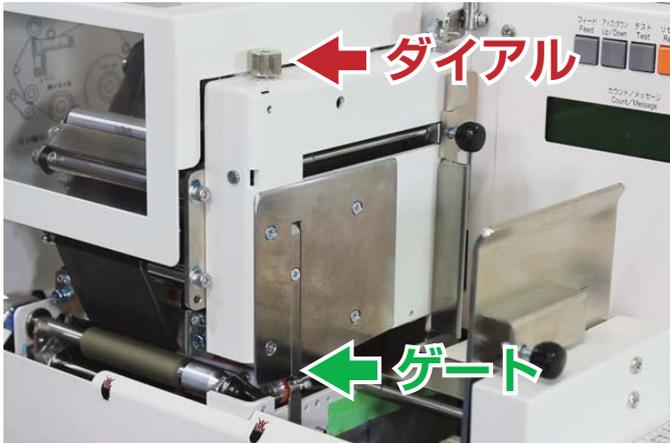


# *Jupiter 712*

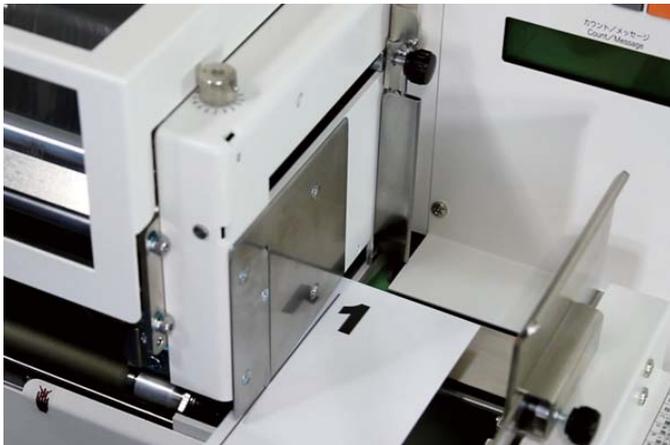
## 用紙のセット方法

株式会社 中和

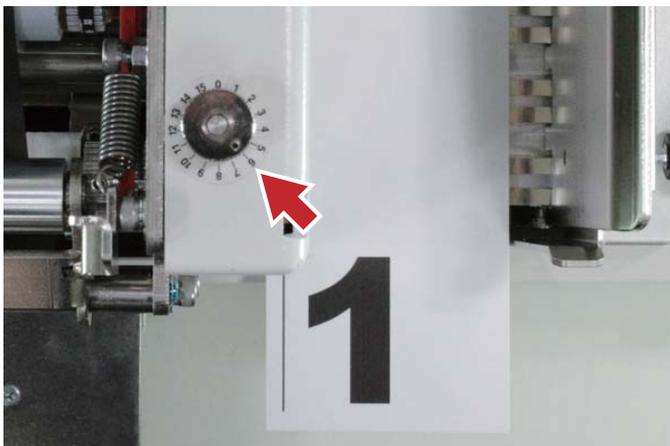


1 ゲートの高さを調節します。ゲート高さは用紙の約 1.6 枚分になります。

ダイヤルを時計回りにまわすとゲートが広がります。



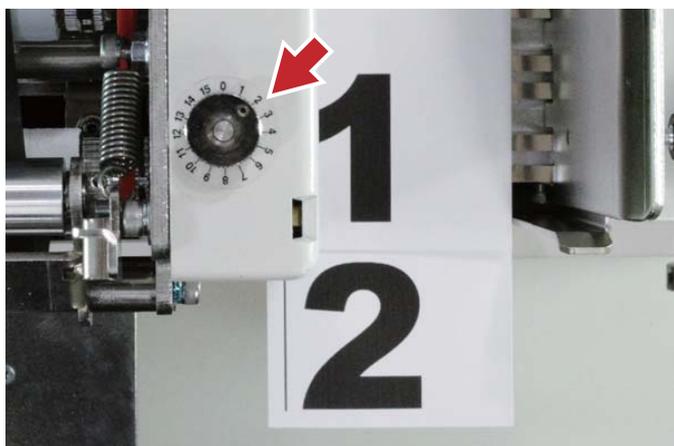
ゲートを用紙がちょうど 1 枚通過する高さにします。



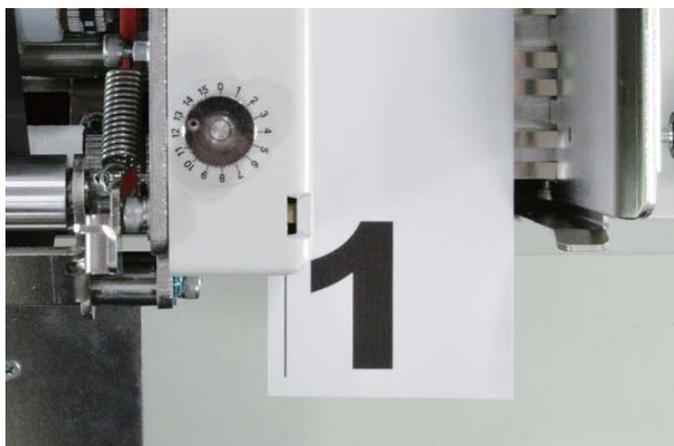
この用紙の場合、ちょうど 1 枚分が通過するのはダイヤル「6」の高さでした。



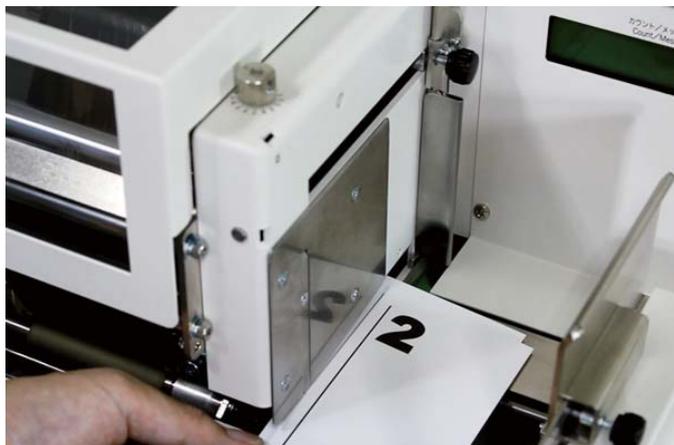
ちょうど2枚分の用紙がゲートを通過するところにダイヤルを合わせます。



ちょうど2枚分の用紙が通過するのはダイヤル「15+2」でしたので、目盛り12個分回しました。



約1.6枚分にあたる「13」にダイヤルを合わせます。



2枚重ねた用紙が1枚だけ通過することを確認します。



**2** 用紙幅にホッパーを合わせます。

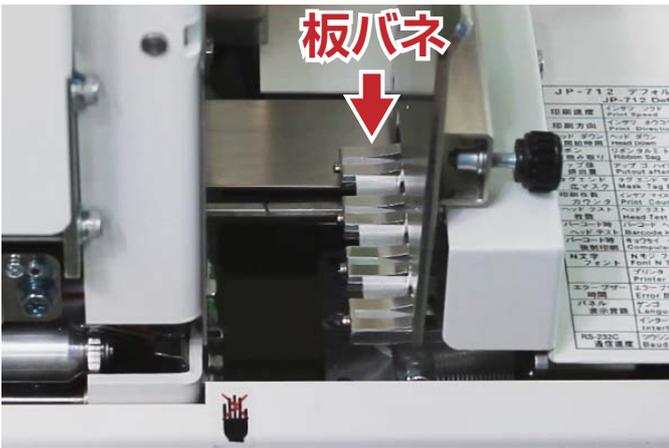


用紙を上下させて引っ掛かりがないように  
0.2mm ~ 0.5mm 程度広くしておきます。

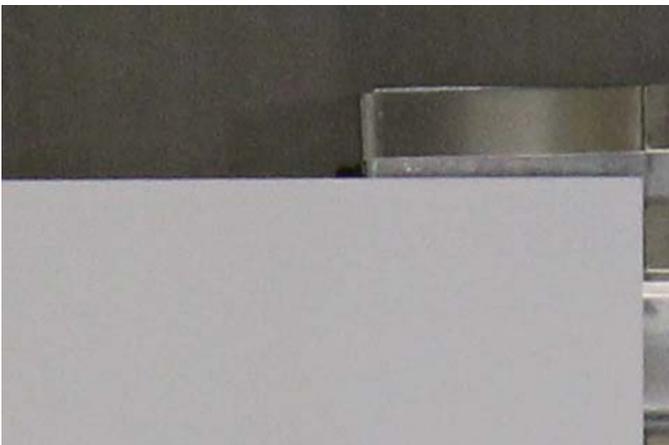


### 3 用紙の前後位置を合わせます。

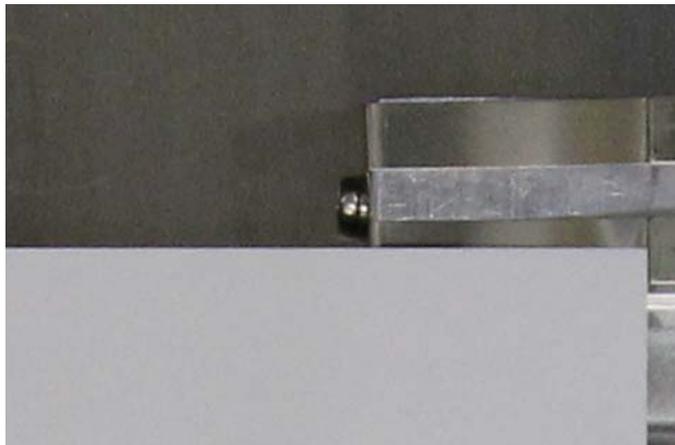
印字開始位置に合わせてタグガイドを調節します。用紙に対してガイドが窮屈にならない位置で固定します。



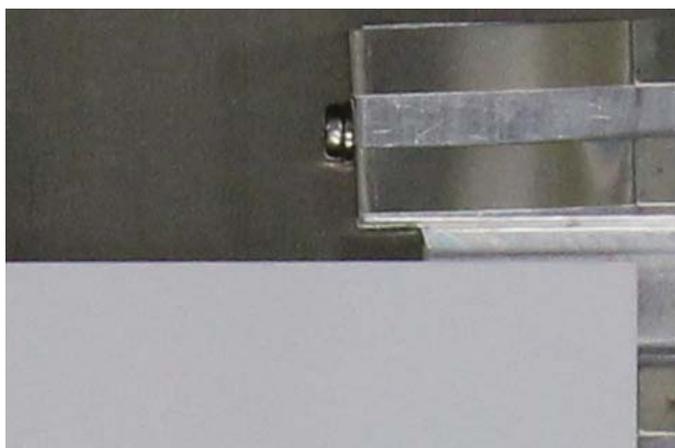
もっとも奥の板バネに用紙がしっかり乗っていないと用紙は正常に搬送されません。



このように1枚の板バネに用紙がしっかり乗っていると正常に搬送します。



このように 1 枚の板バネに用紙が中途半端に乗っていると正常に搬送できません。



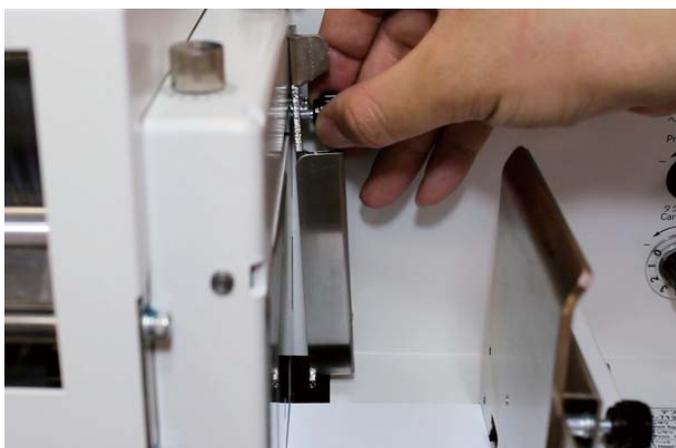
タグガイドを少し前にすることで正常に搬送することができます。



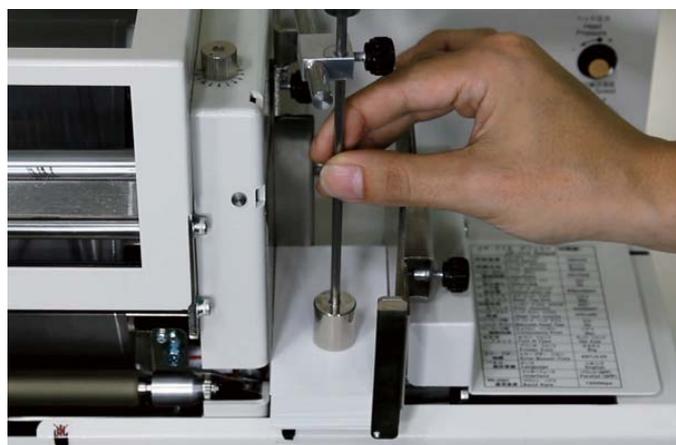
糸付用紙をセットする場合はできるだけガイドを前にしてヘッドが糸を踏んで破損しないよう注意します。



後ろのタグガイドをスライドさせて用紙の後端に当てます。用紙に対してガイドが窮屈にならない位置で固定します。

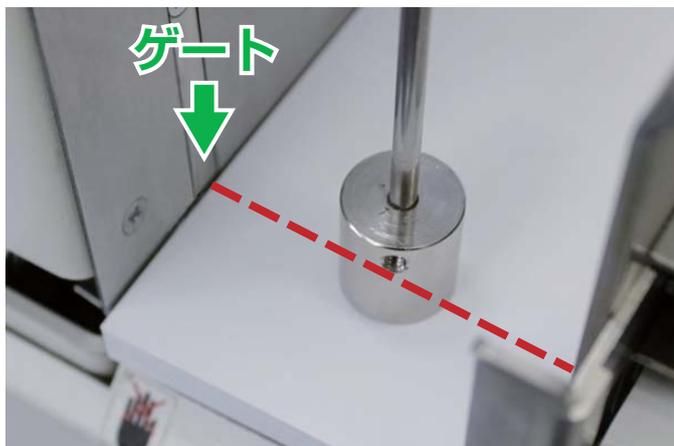


用紙幅が広い場合はタグガイドを少し右に出すことが可能です。



## 4 用紙を積んでおもりをセットします。

用紙に反りがあると正常に印字できない場合があります。紙粉は十分に払い落としてからセットしてください。



おもりの位置は、ゲートの延長線上で用紙幅の中央が基本となります。



パネルに「ストップ」と表示されていることを確認し、[テスト]ボタンを押すと搬送テストができます。

以上でインクリボンのセットは完了です。